



2020年10月16日 第850号



発行部  
関西学院大学新聞 総部  
〒662-0891  
西宮市上ヶ原一番町1-155  
関西学院大学新学生会館3F  
電話：(0798) 51-1181  
E-mail: info@kgpress.jp  
HP: http://www.kgpress.jp  
Twitter: @kg\_shinbun

# 半年ぶり キャンパスに学生戻る 対面授業は限定的

関西学院大学の秋学期が9月23日に始まった。授業の一部は対面形式になったが、関西学院大学新聞の調べでは西宮上ヶ原キャンパスである対面授業の割合は全体の23%。授業の大半がオンラインであることが分かった。

春学期は新型コロナウイルスの感染を予防するため、原則全ての授業がオンラインで

開講された。大学は9月7日、学長名で「秋学期の授業開始と同時に(学生に対する)キャンパスの立ち入り禁止を全面解除する」としたメッセージをホームページに掲載。ゼミや実験科目、語学を中心に対面授業を実施すると発表した。

公開されているシラバス(講義概要)を集計。対面授業は全体の23%、オンラインと対面を併用する授業を加えても27.7%に留まった。学部によって対応が異なることも分かった。国際学部が34.6%の授業を対面で実施しているのに対して、社会学部は1.3%だった。社会学部は学長が、対面での授業が

## 「通常の学費を納めるのはおかしい」 有志学生が学長に嘆願書提出

関西学院大学教育学部4年の江頭翔太郎さんは9月8日午後、学費の一部返金と減額を求める署名438人分を同大の村田治学長宛てに提出した。江頭さんは新型コロナウイルスの影響で授業や課外活動などの学生活動が大幅に制限されながら、例年通りの学費を払うことに疑問を持ち、8月24日からオンラインで署名を募っていた。

研究が十分にできない状況で、通常の学費を納めることに疑問を感じた」という。春学期に受けた授業の大半は課題の提出を求めるオンデマンド型で、双方向型の授業は少なかった。課外活動も再開しつつあるが、人数や時間に制限があるという。

江頭さんは、「本当に困っている学生と大学の明るい未来のために、(学長は)嘆願書を読み、検討して欲しい」と話した。(難波千聖)



江頭翔太郎さん

### 扉の一言

地球が丸いように、人の心も丸くあれば平和は実現できる

朴南珠 (被爆者)

重要となる科目として挙げた言語科目もオンラインで開講している。対面授業を増やすには課題が多い。社会学部関係者は「対面授業を増やすと、学生がキャンパスでオンライン授業を受ける必要がある。学内ネットワークを使うと回線が混雑し、教員が大学でオンライン授業をする妨げになってしまふ」と説明した。ネットワークを管理する大学の情報管理機構は回線を強化する予定だが、新型コロナウイルスの感染予防もなければいけないことから「秋学期中に対面授業を増やすのは難しい」と(関係者)とした。

## SDGs学ぶかるた 教育学部生が製作

関西学院大学教育学部の学生らが、国連が採択したSDGs(持続可能な開発目標)を楽しく学べる「SDGsかるた」を作った。SDGsを知らない人や難しいと感じている人のために「誰でも分かりやすく」を意識し、工夫をこらした。かるたを作ったのは、環境教育などを学ぶ湊秋教授のゼミに所属する3~4年生18人。持続可能な社会を目指して、2030年までに国際社会が達成すべき17項目の目標「SDGs」。ゼミ生の多くは詳しく知らなかった。だからこそ、多くの人がSDGsを身近に感じる方法はないかと考えた。絵札や読み札を工夫した。イラストレーターのリミタ・イチローさんが手がけた絵はシンプルで誰でも理解しやすい。読み札もくだけた言葉遣いで、



製作した「SDGsかるた」を手にする教育学部の学生 (吉永美咲)

## ■秋学期に開講される授業(西宮上ヶ原)

	対面授業数	対面+併用
神(105)	70(66.7)	70(66.7)
文(678)	286(42.2)	296(43.7)
社会(379)	5(1.3)	50(13.2)
商(301)	8(2.7)	8(2.7)
経済(327)	45(13.8)	47(14.4)
法(374)	113(30.2)	131(35.0)
人間福祉(278)	87(31.3)	98(35.3)
国際(246)	85(34.6)	120(48.8)
その他(391)	9(2.3)	34(8.7)

(学部下の)対面授業数、対面+併用の下の数字は全体の授業数に占める割合。シラバスを集計し、オンライン、併用、対面のいずれも記載していない場合は不明とした。不明は、文II22、社会II23、その他II15。その他は、▼共通教育センター▼教職教育研究センター▼言語教育研究センター▼ハンスオンライニングセンター▼国連・外交統括センター▼スポーツ科学・健康科学教育プログラム▼開講科目)



「やっと故郷で死ぬる」。難民だった老女が祖国に帰ってきた時に発した言葉である。現地で帰還を支援した高嶋由美子さんは、難民の幸せを実現することこそ、自分の存在意義であると感じた。春学期に開講された「合同演習D」の中で、国連難民高等弁務官事務所(UNHCR)の職員である高嶋さんのインタビューがあった。高嶋さん

は現場にこだわり続ける理由を語った。高嶋さんが国連職員を目指したきっかけは、現場の声を聞きたいという思いからだ。大学院でルワンダ虐殺を研究していたが、学会で生存者の証言を聞き、文献には書かれていない数々の事実を衝撃を受けた。国連職員となり、自分の目で現場を確かめることを決めた。高嶋さんにとってUNHCRで働くことは、現地の人々と一緒に未来を切り開くことだ。世界各地で発生する難民と向き合う中で、同じ人間として難民問題に向き合う必要

性を感じたという。難民と同じ目線で、難民問題の解決に取り組むことが大切なのだ。難民は自ら望んで難民となったわけではない。取り巻く環境が導いた。難民を自分とは違う人と捉えるのではなく、話を聞き、違いが生まれた理由を考え、相手を理解することができると、またま紛争のない今の日本で生きる私たち。難民を含む自分の背景とは異なる人々の生の声を聞き、同じ人間として何ができるかを考えた

## 悲願の日本へ 関学サッカー部

関西で強豪の関学サッカー部は今季、インカレで5年ぶり二度目の優勝を狙う。選手らが今季への思いを語った。

4・5面

## 問われるあり方 大学ミスコン

性差別や外見差別といった批判を受け、コンテストの廃止や性別を不問にするなど各大学で対応が広がっている。

8面

## 新月祭2020 オンライン開催決まる

2面



パンフレット、記念誌、報告書  
制作・編集、デザイン

# 和泉出版印刷株式会社

[本社]  
〒540-0026 大阪市中央区内本町1-1-6 本町カノヤビル  
TEL: 06-6946-1073(代) FAX: 06-6946-7684  
E-mail: info@izumi-syuppan.co.jp

[和泉営業所]  
〒594-0083 和泉市池上町4丁目2番21号  
TEL: 0725-45-2360(代) FAX: 0725-45-6398

# 新型コロナウイルスの影響 オンライン新月祭

## 出演者のサポーター・集客に課題

関西学院大学の大学祭実行委員会は8月4日、今年の「新月祭」をオンラインで開くと発表した。新型コロナウイルスの影響でキャンパスでの開催が難しいと判断した。学生は演劇やダンスなどをインターネット上で配信する。出演する学生団体のサポーターや集客など課題は多い。

屋内外で披露していたステージは事前収録し、編集したものをYouTubeで配信。課外活動の自粛で触れる機会が少なかった新入生に向けて、クラブやサークルの紹介にも力を入れる。

実行委がサポーターし、出演者が動画の撮影や編集をしている。9月23日からキャンパス内で撮影を開始した。新歓の時期と重なり、動画の回収は思うように進んでいない。実行委は「完成への道のりは見えている。全ての団体が予定通り参加できるように、サポーターに力を入れていく」としている。

動が見えない中、集客も課題だ。模擬店の中止や感染対策が不要となったことで余った予算を活用し、豪華なゲストを招いた。人気の漫才コンビや卒業生のロックバンドが出演する。文学部3年で新月祭の松田将成実行委員長は「学生の企画をより多くの人に届けるためにゲストを招くと決めた」と説明し、「ゲストでも関学らしさを出せるように考えた」と話す。

7月下旬まで、対面での小開催に向けて実行委は協議を重ねていた。感染拡大は収まらず、参加者や委員から不安の声が多くなった。「オンラインになっても新月祭に参加したい」という学生の声の後押しし、オンライン開催を決めた。苦渋の決断だった。

目指すのは、関わった全ての人ややってよかったと思える大学祭。松田委員長は「前例がない不安は大きいですが、できることは全部やる。(人と人)つながりを大切に乗り

越えたい」と熱く語った。開催は10月24日、25日、11月7日、8日。参加方法は実行委の公式ツイッター(@singetsusai)で。



昨年、ノンジャンルステージ「K.G.AWARD'19」で書道パフォーマンスを披露した文化総務部書道部。今年のステージは11月7日12時からYouTubeで配信される。

## 宝塚 関学OGの元プロダンサー バレエ教室をオープン

関西学院大の卒業生で、元プロバレエダンサーの中澤舞さん(30)は9月1日、兵庫県宝塚市にバレエ教室「Ma Ballet Studio」を開いた。コロナ禍で練習機会を奪われ、やる気をなくす子供たちの姿を見て設立を決めた。

中澤さんは、8歳で姉が通っていた地元のバレエ教室に入門。大阪府立北野高校に入学後、本格的にバレエをするため、尼崎市の強豪スクールに移籍。自宅から往復2時間かけて毎日レッスンに通った。

高校在学中、プロバレエダンサーを目指すも叶わず、大学進学を決めた。練習拠点に近い、関西学院大学社会学部に入学。大学が終わってから夜遅くまで練習する日々を

送った。2年生までにほとんどの単位を取り、3年生からは東京でバレエに集中した。大学卒業後、夢を捨てきれず、2社の内定を辞退し渡米。2013年から4年間、アメリカのバレエ団で主要キャストとして活躍。現地のバレエスクールで指導もした。

開校したバレエ教室には、早くも生徒の姿がある。「どんな状況でも、努力し続ける力を子供たちに持たせてあげたい。努力の先に見える世界を見せたい」と語った。

退団後、ダンサーとしての活動に区切りを付け、指導者に専念。帰国後は、古巣のバレエスクールで2年間、下積みをした。

関学軟式野球部 秋季リーグ出場断念  
関西学院大学軟式野球同好会BISONは8月30日、関西六大学学生軟式野球連盟の秋季リーグ出場を辞退すると発表した。同リーグは来月1日から、関学大を除く5大学で開催する。

国内のミスコンテストの決定版として開催される「2020ミス・ジャパン」の大阪大会が8月4日、大阪市中央公会館ホールであり、関西学院大学経済学部3年の宮丸久美さんがグランプリを受賞した。

## 関学も100分授業に 来年度から

関西学院大学教務機構はこのほど、来年度から授業時間を変更すると発表した。90分だった授業時間は100分になる。学生の生活サイクルに影響があるとの懸念もある。

授業時間は司法研究科(西宮北口キャンパス)を除く全ての学部・研究科で変更。窓口や施設の開設時間は決定次第、大学ホームページ等で発表される。

関西でも昨年、大阪市立大も後押しするとしていた。遠方から通う学生からは生活サイクルへの影響や、交通の利便性を懸念する声が目立つ。文学部2年の男子学生は「1時間限目の開始時間が早くなると、通学時間の長い学生に混乱を生むのでは」と話す。

近年、全国の大学で授業時間の延長が相次いでいる。明治大は2017年、授業時間を100分に延ばし、1学期の授業コマ数を15回から14回に減らした。変更で日程に余裕ができ、大学祭前の1週間を休講にした。

大学は、授業時間変更で知識伝達型の授業形態の脱却を目指す。教員と学生が互いに意思疎通を図る双方向型の授業へ転換し、学生自身の主体

的な学びを促す「授業改革」も後押しするとしていた。遠方から通う学生からは生活サイクルへの影響や、交通の利便性を懸念する声が目立つ。文学部2年の男子学生は「1時間限目の開始時間が早くなると、通学時間の長い学生に混乱を生むのでは」と話す。

関西でも昨年、大阪市立大も後押しするとしていた。遠方から通う学生からは生活サイクルへの影響や、交通の利便性を懸念する声が目立つ。文学部2年の男子学生は「1時間限目の開始時間が早くなると、通学時間の長い学生に混乱を生むのでは」と話す。

近年、全国の大学で授業時間の延長が相次いでいる。明治大は2017年、授業時間を100分に延ばし、1学期の授業コマ数を15回から14回に減らした。変更で日程に余裕ができ、大学祭前の1週間を休講にした。

## 学生が三田市議選の投票啓発

### 「10代の投票率を80%に」

若者がワクワクしながら投票できるようなまちにしようと思った有志の学生らは、三田市に住む若者に10月4日投票の兵庫県三田市議選の投票を促す取り組み「VOTE FOR SANDA(ボート・フォー・サンダ)」をしている。関西学院大からは4人が参加した。「10代の投票率を80%にするを目標に、パンフレットやインターネットで、若者が政治に関心を持てるよう情報を発信している。

パンフレットでは選挙の概要や三田市議の仕事、投票の方法などの情報を掲載している。若者の人口の少なさを、前回の投票率の低さを視覚的に示し、若者向けの政策が通りにくい現状を伝えている。パンフレットは市内の高校で配布し、飲食店などにも置いてもらった。

若者に投票を促すために、インスタグラムでも選挙情報を発信している。候補者情報の掲載に力を入れた。神戸新聞社と協力し、候補者から最も力を入れる政策内容と若者へのコメントを集めた。中立的な観点と分かりやすさを意識し、若者が投票したい候補者を選ぶ参考になることを目指した。

中心的に活動する、神戸市外国語大学3年で三田市在住の米田由実さんは「思っている以上に選挙は簡単で、政治は身近だ。自分の感じたことを投票するという行動に移してほしい」と呼びかけた。関西学院大学から参加した総合政策学部4年の中嶋舞花さんは「選挙を自分の生きたい未来を作るための一つの手段にしてほしい」と思いを語った。

同プロジェクトのインスタグラム: @voteforsanda。(川本暖乃)

経済学部 宮丸久美さん  
ミス・ジャパン大阪代表に  
国内のミスコンテストの決定版として開催される「2020ミス・ジャパン」の大阪大会が8月4日、大阪市中央公会館ホールであり、関西学院大学経済学部3年の宮丸久美さんがグランプリを受賞した。

女性に笑顔と勇気を与えられる存在になりたいという思いから、モデルとして活動する宮丸さん。事前審査を勝ち抜いた7人の中からグランプリに輝いた。「女性としての美しさは、女性の持つ意思や自分らしさからあふれるもの。今回の大会でも内なる美や立ち居振る舞いに重点を置いた」と振り返った。

関西学院大学体育会学生本部は9月20日、オンラインで、大学公認の部活動「サークル」を紹介するイベントを開いた。同大に入学を考えている高校生も参加した。

イベントはビデオ会議システム「Zoom」を活用。体育会の部活動や、文化系の部活動、大学公認サークルなど約50団体が参加した。持ち時間10分、自団体をアピール

した。新型コロナウイルスの影響で従来通りの新入生歓迎ができない中、同本部はアンケート調査を実施。存続が危ぶまれている部活動があることが分かり、イベント開催に至った。ラクロス部や馬術部、重量挙げなど大学から競技を始める人の多い部活動にコロナの影響が顕著に出ているという。(林 昂汰)

関西学院大学体育会学生本部は9月20日、オンラインで、大学公認の部活動「サークル」を紹介するイベントを開いた。同大に入学を考えている高校生も参加した。

同大会は新型コロナウイルスの影響で無観客開催となった。宮丸さんは「大会に向けて、一度中止になった大阪大会が無観客という形でも開催されてうれしかった」と感謝の思いを語った。(壺山千種)

# 障害者と防災 ③

## 宮城県の高齢者死亡率高くなった要因は

### 東日本大震災

東日本大震災で当初、全市民の死亡率と比べ、障害者の死亡率が約2倍とされていた。2012年のNHK福祉ネットワーク取材班の市町村単位の調査から、障害者の死亡率が地域によって異なることが分かった。東北地方で最も被害を出したのは、宮城県で障

害者の死亡率は約2倍だった。障害者や高齢者の避難対策に詳しい同志社大学の立木茂雄教授は高齢者向け入居施設の立地や、宮城県が進めた「ノーマライゼーション」が原因の1つだと指摘している。

東日本大震災の人的な被害は、高齢者と障害者に集中した。太平洋側の岩手県、宮城県、福島県で多数の死者を出した。ただ、3県で被害の出方が大きく異なる。高齢者の被害の割合が最も高かったのは宮城県で、続いて福島県、岩手県の順だった。

障害者の被害状況でも同様の結果だった。同調査によると、3県の全体死亡率における障害者の死亡率は、最も高い宮城県で1・92倍、岩手県で1・19倍、福島県で1・16倍だった。

# 日進月歩

## SNSの使い方を見直そう

SNSでの誹謗中傷が後を絶たない今日、民放の人気TVリアリティショーに出演し活躍していた木村花さんの死は記憶に新しいのではない

か。一人の女性の生死を分けたのは、インターネット上で寄せられた沢山の暴言だった。何度スマートフォン画面をスクロールしても、覆い尽くす誹謗中傷の数々。中には木村さんの人格を否定するような言葉も数多く存在した。

一体なぜ誹謗中傷が起こってしまうのか。多くのケースで見られるのは「暴走した正義感」である。

今回のケースで言えば、彼女の番組内の行動を見た一部の人が「彼女は間違っていた」として、だから彼女は悪であり、団結し悪を懲らしめなければならぬ」という正義感に駆られた。その結果「勧善懲悪」をうたい、誹謗中傷を通じて彼女を追い詰めたのだった。

入居者を見守っている。立地が安全であれば、入所施設の方が職員からの支援を受けられ、安全だったという。

立木教授は、宮城県の浅野史郎元知事が進めた、障害者や高齢者も施設ではなく一緒に暮らす「ノーマライゼーション」が宮城県で障害者死亡率が高くなった原因だと指摘している。宮城県では震災当時、地域で在宅の生活を送る身体障害者の割合が高かったことが、地域で障害者が津波被害に遭う可能性を高めた。

「高齢者や障害者をより安全な施設に入居させるべき」という結論には至らない」と立木教授は強調する。平時と災害時で切れ目なく、高齢者や障害者へのケアを提供する。必要なのは、地域における人と人との繋がりが。いざという

## 体育会サッカー部

### 「守備が粘りを見せた」同志社に勝利2連勝

関西学生サッカーリーグ1部リーグは9月19日、後期第2節がユニバー記念競技場（神戸市須磨区）であり、関西学院大が2-1で同志社大を下した。第1節の大阪学院大戦に続き、連勝を飾った。

前半6分、FW山見大登が中央からドリブルで抜け出し、相手GKと1対1に。GKの手が足に掛かり、ペナルティキック（PK）を獲得。自ら右隅に蹴りこみ幸先よく先制に成功した。

う時のために近隣住民の支援を組み込んだ個別計画をあらかじめ作り、日常的に訓練することが急務だという。

兵庫県丹波篠山市では支援を必要とする当事者と福祉専門職、地域住民が集まって、個別支援計画を作成している。実際に訓練も行い、支援者を避難所まで運べるか検証する。介護サービス計画作りの延長と位置づけ、福祉専門職への報酬7000円を県が上乗せする。18年度に2市町で試験的に始まり、昨年度は県内41市町のうち36市町へ取り組みを広げている。立木教授は、「福祉専門職の善意に頼らず、災害時のケアプランを作成できる仕組みを整え、（個別支援計画を）義務化させるために政府に働きかけていく」と話した。（松岡樹、難波千聖）

クからヘディングを決められ、スコアを振り出しに戻される。前半はこのまま1-1で終了した。

後半5分、左サイドを抜け出したMF安藤修雅の中央へのパスを山見がコースを変え、フリーとなったMF林部晃己が落ちていてゴールに流し込み、勝ち越しに成功。林部は、「点を取りたい一心で、全力で走った。こぼれてきて良かった」と振り返った。

その後、同志社大にボールを握られ、攻め込まれる時間帯も多かったが、試合はその

# 苦境飛び越え全国へ

## 体育会 馬術部



飼育費不足をうけ、体育会馬術部は5月下旬から寄付を募っていた。多くの寄付が集まり、当面の心配はない。自粛期間中は馬の命を最優先に活動をしてきた。

大会には6組の人馬が出場した。「クロスアントリ」では障害が設置された2つのコースを完走した。理工学部4年の小林和貴主将II写真IIは「馬の調子が良くどどん障害を飛んでくれた。馬にとっても助けられた試合だった」とほっとした様子だった。10月末の全国大会には馬術部から4組の人馬が出場する。（難波千聖）

## 3戦目は不戦勝

### 近大部員が大麻使用で辞退

関西学生サッカーリーグ1部リーグは3日、近畿大が後期第4節の出場を辞退し、関西学院大が不戦勝した。近大は5日、会見を開きサッカー部の男子学生5人が大麻を使用していたことが分かったと

発表した。部の調査で、学生が使用を認めたことから、今月1日からサッカー部は活動を停止している。今季のリーグ戦は、全試合辞退する。先月30日、部員から「部内で大麻を使用している者がいる」とコーチに報告があった。今月1日、ミーティングを開き、学生が使用を認めたことから、警察へ連絡した。近大は調査チームを立ち上げ、大阪府警と連携し、入手経路などを調べる。学生や指導者、部への処分は今後、学内規則に則って決定するとい



GK稲垣佳祐（左）とDF山本祐也（中）。関学の守備陣は粘り強い守備を見せた=19日、神戸市須磨区

# 対人守備 安定感ある戦いを

## DF 本山遥(商・3)



高い守備力で対戦相手を抑え込む本山。去年の前期リーグ戦の立命館大戦が記憶に新しい。前半に退場者を出した関学だが、前半の先制点を10人で守り抜き、1-0で勝利。試合で本山は、立命館大に所属しながらJ1でもプレーする藤井智也と相対した。相手のスピード溢れるドリブルにも懸命に対応し、無失点に抑えた。「J1でもプレーする選手に通用したことが、自信に繋がった」と振り返った。

取り組む姿勢は、中学時代の監督から教わったものだという。「二つ二つのプレーや勝負にこだわること、ピッチ外でも真面目に取り組むことなど、自分の土台となるプレースタイルや人間性を形作ってもらった」と話した。

強固なディフェンスを作り上げ、関西学生リーグ優勝、その先のインカレ優勝へ挑む。「去年は格下の相手に勝ち点を落とすことがあった。1点取れば勝ち切れるチームが理想。安定感のある戦いができるチームになっていきたい」と熱く語った。



## MF 安羅修雅(商・3)

# 勝利へひたむきに戦う

「とにかく全力を出す。頑張るキャラなんで」。迷いなく答え、まっすぐにこちらを見る目は、トップチームでプレーしてきた自信に満ちていた。

卒業生で京都サンガの中野克哉と、ガンバ大阪の山本悠樹に憧れを抱く安羅。「どんなに厳しい試合でも、状況を変

えてくれた。俺についていこうとチームを引っ張っていく姿勢を尊敬していた」と語った。

今シーズンの目標は、リーグ戦の優勝と、その先のインカレ優勝。昨年のインカレ準決勝では、当時三冠を達成した強豪の明治大と対戦し敗れるも、安羅は貴重な先制点を奪った。攻撃

面では果敢に仕掛け、味方からボールを引き出す動きだしを見せた。守備面ではとにかく粘り強く相手に対応した。

自粛期間は、筋力トレーニングに励み、さらなる向上を目指した。リベンジに燃える安羅はサイドを駆け回り、関学に勝利をもたらす。



## FW 林部晃己(商・4)

「チームのために」その言葉を何度も繰り返した林部。フォワードとして得点することはもちろん、ボールをキープして時間を与えることや、前線からの守備でチームに貢献することを意識しているという。「大学に入ってから、チームのためにどれだけできるかを考えるようになった」と変化を語った。

「チームのために走って、チームを勝たせる。悔いなく終わられるようやりきれない」と語る。献身的な走りやゴールでチームを勝利へ導く。

# チームのため 前線からの守備とゴール

高校時代、試合に出られず、腐りかけた時期があった。当時のコーチが林部をサポートし、共に苦境を乗り越えた。「コーチのおかげで関学に入ることができ、サッカーに全力を注ぐことができていく」と振り返った。

林部の理想は、インカレでプレーするフィルミノー選手。卓越した技術を持ちながら、前線からボールを追い回し、自分へ入ったボールをキープし味方に時間を与える。「彼みたいに、チームにリズムや時間を与える選手になりたい」と話す。

引退を間近に控える林部。

関学生のみなさん、キャンパスにおかえりなさい



神戸市営住宅・兵庫県営住宅ほか  
電気設備保守工事 畑中電気合同会社  
〒653-0834  
兵庫県神戸市長田区川西通り5丁目107番地08

# 関学のイニエスタへ 視界良好 MF 船越大夢(文・2)



クニックを活かし、容易に相手にボールを渡さない。左右から放たれるシュートにも隙がない。

船越は高校時代、ヴィッセル神戸の下部組織に所属していた。尊敬している選手は、スペインの強豪チームで活躍後、J1のヴィッセル神戸に電撃加入した、アンドレス・イニエスタ選手だという。船越は当時を振り返り「間近でスパースターの影響を受けられた。同じポジションを担う中で勉強になる部分がたくさんある」と語る。下部組織では、アンドレス・イニエスタ選手と同じ「8番」を背負ってプレーした。

「たくさんゴールを決めた。そうやって笑う船越には、まだあとけなさが残っていた。プレーになると表情が一変。強みであるボールキープ力を見せつける。持ち前のテクニックは、

今季の目標はスタメン定着。「チームのために、少しでも多くゴールを決めたい」と今後に期待を燃やす。

# 臨む最後のシーズン FW 中村匡克(文・4)



180cm超の長身と豊富な運動量を武器にゴールを量産するフォワード。4年間の集大成として、仲間と共に最後のシーズンに臨む。

自粛期間中は「自宅で基礎トレーニングに励んでいたが、仲間とピッチでサッカーできないのは

# 悲願の日本一へ 駆け上がる関学

関西で強豪の関学サッカー部の今季の目標は日本一。来年の全日本大学サッカー選手権大会(インカレ)で、5年ぶり二度目の優勝を狙う。昨年は準決勝で明治大に敗れたが、今年は新たなメンバーで雪辱を果たす。DF、MF、FW、CBの各ポジションで活躍するホープ7人に、今季にかける思いを聞いた。(壺山千種、木村航太、林昴汰)

# 憧れの背中を追って CB 山内舟征(国・2)



山内は、持ち前の長身とスピードを生かしたカバーリングを武器にするディフェンダー。1年生で、全日本大学サッカー

選手権大会準決勝の明治戦に出場。試合は明治大が合計7得点をあげ、関学大が大差で敗れた。ディフェンダーとして屈辱的とも言え

# 新星 雪辱を誓う MF 長尾優斗(社・1)



「攻撃時の組み立て」と「試合全体を通したゲームメイク」を武器とする新星ミッドフィルターが、関西学院大学サッカー部の門を叩いた。

試合に出場するなど、着々とスタミナを駆け上がってきた。昨年、J3リーグでは、元日本代表の稲本潤一と対した。「試合中のマッチアップで一度もボールを取れず、颯とゴールを奪われた。いつか、実力で追い抜いてやろう

と心に刻んだ一戦だった」と振り返った。雪辱を誓う長尾の現在の目標は、スタメン定着だという。「そのためにゴール、アシストなどの目に見える結果でアピールしていきたい」と1年生ながら、力強く語った。

やはり心細かった」という。練習再開となり、仲間とサッカーできる喜びを噛み締めている。

学生として臨む最後のシーズンについて「入部してから日本一を経験したことがない。日々のトレーニングで仲間同士、目標のため強い気持ちで要求しあっていた。あと一歩のところで勝負強さを発揮できる」と語った。

泣いても笑っても最後の仲間。「サッカーができる環境を与えてくれた方々に恩返しできるように、結果を出したい」と語る。悲願の日本一へ、戦いの火蓋は切つて落とされた。

大量失点での敗北は、彼の心に深く刻まれた。「明治大はチーム全体の強度がすごかった。大学サッカーのレベルの高さを痛感した」と語った。尊敬する人物は、卒業生でガンバ大阪の山本悠樹。「高校の先輩で大学も同じ。ポジションは全く違うが、試合でも一緒にプレーし、お世話になった人」と話す。今季の目標として「チームの日本一という目標に続いて、個人としても日本一にふさわしい選手になりたい」と力強く語った。



「お茶」が教えてくれた15のしあわせ

森下 典子

悪い日なんてない。五感を使って季節を感じ、その日の日を存分に味わうことができれば、どんな日も「いい日」になる。「そして、人間は、そのことに気づく絶好のチャンス連続の中で生きている」。

お茶は、季節を味わうことを教えてくれた。例えば和菓子。初夏には、初がつのお切り身を模した蒸羊羹「初がつお」。秋の深まる頃には、紅葉した落ち葉を模した練切の「落葉」。

お茶は、五感を使って今を一心に味わうことを教えてくれた。「過去も未来もなく、ただこの一瞬に没頭できた時、人間は自分がささざるもののない自由の中で生きていることに気づくのだ……」。

プロフィール
くもりした・のりこ
1956年、神奈川県横浜市生まれ。日本女子大学文学部国文学科卒業。「週刊朝日」の人気コラム執筆の体験をまとめた『典奴どすえ』を1987年に出版。以後、雑誌などにエッセイを執筆している。

「地球が丸いように、人の心が丸くあれば平和は実現する」
10年以上、広島で被爆体験を語ってきた朴南珠さんが、世界平和について語った際に述べた言葉だ。

の必死の頼みに心を動かされた。広島という街が一瞬にしてなくなってしまうこと、平和記念公園のそばを流れる元安川が遺体で埋め尽くされていたことなど、被爆直後の広島の様子を淡々と話した。

をしようと思を決めた。平和の実現のために大切なことは「他人を思いやる優しい心を持つこと」だと朴さんは繰り返し強調した。「戦争は誰も幸せにしない。いがみ合うのではなく思いやりの心を持てばお互いの気持ちも楽になるし、戦争することもなくなると思う」と朴さんは願うように語った。



教授の背中

上田 和彦

法学部 教授

学びの原点は読書に フランス文学から法学部へ

「分かるものを読むのは読書ではなく、分からないものを読むのが読書だ」。大学2年

の頃、ある教授に言われた。学生のは大学の図書館でフランスの文学作品を片っ端から読んだ。日本でフランス

の文学や哲学が目ざされ活気があつた時代だった。フランス文学は、文体の力強さや内容、物語の強度が日本の文学とは全く違った。

中でも感銘を受けたのが、フランスの小説家、批評家として知られるモーリス・ブランショ。「ブランショの小説は」読んでいて全く色彩が思い浮かばない。白夜のような、眠れない夜のような印象を受け、引かれた」と当時を思い起こす。原文で読むためにフランス語を勉強し、大学院ま



で進んだ。同時代に活躍し、ブランショに影響を与えたフランスの哲学者、レヴィナスとの関連を研究し、博士論文にまとめた。

法学部の教員になったことは偶然だった。法学部には、ブランショやレヴィナスはもちろん、専門的に研究してきたフランス文学を知らない学生ばかり。授業では、その時のニュースに絡めて、社会が直面している問題を面白く、分かりやすく解説し、議論することもあつた。

最近では新型コロナウイルスの影響もあり、コロナやペストなど感染症、疫病に関する本を10冊以上読んだ。中でもカナダの歴史学者ウィリアム・ハーディー・マクニールの『疫病と世界史』が印象的だった。「免疫を持っているかどうかの国の存亡を分けた。4年生のゼミで話すと、みんな興味を持って聞いていた」と目を細めた。

Table with 2 columns: Year and Achievement. Rows include graduation from University of Tokyo (1990), research courses (1990), D.E.A. certificate (1997), PhD (2002), and various professorial positions at Kansai Gakuin University (2003-2008).

核なき世界実現へ

広島市「若い世代が主役に」

終戦から75年。これまで広島市は、核兵器廃絶と世界恒久平和の実現を目指してきた。実体験として戦争を語る人が少なくなる中、広島市役所市民局平和推進課の山藤真浩課長は、「これからは若い世代が主役になってほしい」と話す。

典後に、若者が中心となり平和への思いを発信する青少年文化イベント「ヒロシマの心を世界に」がある。今年は新型コロナウイルスの影響で中止となったが、昨年まで毎年開かれていた。若い世代の平和意識を高め、平和への主体的な取り組みを促すことを目指し、被爆体験者の話を基に描いた絵の展示などを行う。

うへだ かずひこ
1990年 東京大学教養学部教養学科 卒業
1990年 東京大学大学院人文社会系研究科前期課程入学
1997年 ストラスブール人文科学大学哲学科第三課程にてD.E.A.(専門研究課程修了証書)取得
2002年 東京大学大学院人文社会系研究科博士号(文学)取得
2003年 関西学院大学法学部専任講師
2004年 関西学院大学法学部助教授
2008年 関西学院大学法学部教授

山藤課長は、「世界的な連帯が重要な時だからこそ、被爆都市としての責務を果たしていきたい」と話した。(吉永美咲)

K.G. PEOPLE

体育会 サッカー部

杉山 天真 主将 (経・4)

「大学でサッカーをする意味を、嫌と言うほど自分自身に問いかけた」。高校まで、ガンバ大阪の下部組織に所属していた杉山さん。プロ入りを目指すも叶わず、地元で強豪の関西学院大に進学した。大学生活でスポーツを極めることの意味を語った。

サッカー部には、約200名の部員が在籍する。試合に出られるのは11名だが、試合に出ない選手も必死に応援し、スタンドで勝利に涙する。杉山さんは高校時代を振り返りながら「下部組織では、出場していない試合には興味を示さない自己中心的な選手が多かった。大学に入り、チームを思う選手の姿に心を動かされた」と語った。



プロ選手の育成を目的としない大学で、サッカーを続ける杉山さん。「高校サッカーにも、プロサッカーにもない魅力がある。大学で得られる人間的な成長は、サッカーの技術よりも価値がある。競技能力以外の総合的な力を養っている。」 (林 昂汰)

ことが、大学でスポーツをする意味だ」と話す。来月1月の全国大会後に引退を控える。「就活などは引退してからでもできる。残り少ない大学でのサッカーに100%の力を注ぐ」と決意している。 (林 昂汰)

体育会学生本部長・弓道部

染田 隆道さん (神・4)



弓道部では全国大会にも出場し、体育会では学生本部長も務める染田さん。高校から

始めた弓道だが、全国大会に出場するまで上達し、関学へのスポーツ推薦を勝ち取っ

た。大学入学当初は周囲とのレベルの差に悩みながらも、自ら考えた練習メニューを実践し大学でも全国大会に出場するほどの実力だ。

本部長となったきっかけは総合関関戦だ。関西学院大学と関西大学の体育会が毎年各競技で対戦する総合関関戦。1回生で参加した際の印象を「楽しかった。体育会の仲間が互いを応援しあい、関関戦で体育会が一つになっていった」と語る。

関関戦に強い感銘を受けた染田さんは、参加するだけでなく運営から関わることに決めた。2回生で関関戦の実行

委員となり、後に実行委員長へ。その後、周囲からの推薦もあり体育会学生本部長となった。

本部長になってからは人前で話すことが増えた。ここで役に立ったのが弓道部での経験だ。「心の状態がそのまま試合に現れる、メンタルのスポーツ」という弓道で、不安や緊張に打ち勝って結果を残してきた染田さん。「不安になった時に自分がどうすれば落ち着けるのか、気持ちの整理の仕方を学んだ。そこで得た方法が本部長としての活動にも役に立った」と語る。

弓道で学んだ心の整理の仕方を活かし、就活も終えた。12月の全国大会まで、体育会学生本部長の役割と弓道部の活動両方に全力を注ぐ。 (林 昂汰)

タイムスリップ

第25回 佐野寛さん (19年社会学部卒)



お笑いコンビ「アクアキャンディー」の佐野寛さん(右) = 事務所提供

「売れるのはたった1握り」。連日テレビ番組や舞台で活躍できる芸人はほんのわずかである。それでも厳しい世界の扉を開き、挑戦する卒業生がいる。

本学卒業生の佐野寛さん(24)は芸能事務所タイタン所属の芸人。お笑いコンビ「アクアキャンディー」を結成後、

舞台や動画投稿サイトで活動している。「1ミリでもやりたいと思ったらやってみること」が座右の銘だという。ただ、芸人になるということは決してたやすいものではなかった。「学生時代から人前に立つことが苦ではなかった。ただ、就職活動当時、放送作家

のような、いわゆるテレビを裏から支える仕事を志望していた。しかし、パフォーマーの自分でいたいという迷いが常にあった」と話す。その決断を支えてくれたのが座右の銘の「1ミリでもやりたいと思ったらやってみること」だった。

決断後の佐野さんは一直線だった。当時決まっていた内定に全て断りを入れた。卒業間近だったこともあり、多くの人に心配された。「ただ本心に今しかない。(卒業のタイミングという)チャンスを逃してなるものかと必死だった」と笑顔で話した。

が本心にありがたかった」と佐野さん。最後に新入生へのメッセージとして、「僕にとつて関学は夢を応援し、全力で応援してくれる場所だった。大学のアットホームな特色を最大限に活用し、夢を追いかけて欲しい。コロナ禍で大変な状況ですが、大切な4年間を全力で走り抜けてほしい」と笑顔で話した。 (木村航太)

◎佐野寛(さの かん)  
1996年5月10日生  
静岡県静岡市清水区出身  
関西学院大学社会学部卒業  
在学中、お笑い芸人になることを決意し、当時決まっていた内定を辞退。芸人の道へ進む。卒業後、芸能事務所タイタンの養成所に入学。相方、石井康平とお笑いコンビ「アクアキャンディー」を結成。ステージ上や動画投稿サイトYouTubeなど様々な舞台で笑いを発信中。

部室だより vol.27  
体育会 スケート部 [フィギュア部門]

氷から遠ざかったままのフィギュア部門

体育会スケート部フィギュア部門の学生が週1回練習していた西宮市内のスケート場。今はリンクに学生の姿がない。大学からの要請を受けて氷上での活動を自粛しているからだ。夏休み中の合宿も実施を見送った。

関西インカレ(関西学生氷上競技選手権大会)の男女団体優勝を目標に29人で活動している。大学からフィギュアを始める部員も多い。文学部4年の山田晋一主将は「経験者と大学から始めた選手が励まし合い、関西インカレを目標に取り組んでいる」と話す。

力を入れてるのは競技だけでは足りない。毎年11月、児童養護施設で暮らす子どもたちを招き、スケート教室を開く。「スケートの楽しさを伝えたい」と、1年生が率先して指導する。山田主将は「たった一人で全観客の注目を集められるのがフィギュアの魅力。他のスポーツでは味わえない」と話した。

現在はオンラインでストレッチや体幹トレーニングをしている。11月には関西インカレを控える。昨年は創部以来初の男女総合優勝を勝ち取った。2連覇を目指すフィ



今年2月、関西学生フィギュアスケート競技大会に参加した = 同部提供

ギユア部門。山田主将の願いは切実だ。「早くリンクに立ちたい。部としての氷上活動は半年近くできていない。大会に出場するにも大学からの許可が必要だ。何とか練習時間を確保して、大会に臨みたい。」 (田中秋杜)

# 外見差別■性差別■営利

# 問われるあり方

# 大学ミスコン 廃止や大学が禁止の例も

近年、日本各地の大学で開かれる「ミスコンテスト」のあり方が変化している。コンテストの廃止や、性別を不問にするなど対応が広がっている。大学が求めるよう求めた例もある。ミスコンが性別やルッキズム（外見差別）を助長しているという声の高まりが背景にある。

（難波千聖、壺山千穂、松岡樹）

大学のミスコンは才色兼備の学生を選ぶ行事として、各地の大学で開かれ、アナウンサーの登竜門になってきた。関西学院大学でも2014年に社会学部を卒業した永島優美さんが11年に「ミスキャンパス関西学院」に選ばれ、フジテレビにアナウンサーとして入社している。

大学でミスコンを開催することには批判や懸念の声もある。多様な学生が対等に学べる場である大学の名前を冠して、画一的な評価で出場者に順位をつけることには批判が

ある。大学の名前を冠したコンテストが、協賛企業の広告活動に協力している点を指摘し「営利を目的とした活動は認められない」（関西学院大学職員）という声もある。東京大学にはミスコンの開催に反対する学生団体がある。ミスコン&ミスターコンを考える会は大学内でのチラシ配布やSNSでミスコンの中止を求めて情報発信している。

「主観に基づいて人を順位付けする行為は、『多様な人格への敬意』に相反するもの」であり、容認できないとした。上智大学は今年、男女別のコンテストを廃止した。性別や国籍、外見を問わず、大学を代表するインフルエンサーを選ぶ「ソフィアンズコンテスト」に模様を変えて実施する。従来の自己PRやスピーチに加えて自身の問題意識に沿った社会発信も審査対象にした。今年のファイナリストは国連が定めたSDGs（持続可能な開発目標）に基づいた情報発信をする。

青山学院大学は今年、ミスコン・ミスターコンに性別を問わず出場することができると明文化した。「ミスキャンパス関西学院2020」は6人のファイナリストが出場、来月28日に弥生の風ホール（大阪府和泉市）でグランプリが選ばれる予定。冠スポンサーには医療脱毛専門の美容クリニック「リゼクリニク」がついている。

10月、関西学院大学新聞調べ

## ■ミスコンを巡る 各大学の対応

大学	事例
上智大	ミス・ミスターコンテストを廃止。性別を問わない新しいコンテストを新設。
青山学院大 東京大	異性のコンテストに出場可能
法政大 京都大 早稲田大	大学内での開催を認めず

## ■法政大学の声明（要旨）（2019年大学ホームページから）

- ▼ダイバーシティの基調をなすのは「多様な人格への敬意」にほかならない。
- ▼主観に基づいて人を順位付けする行為は、「多様な人格への敬意」と相反する。容認できない。
- ▼「ミス/ミスターコンテスト」等のイベントについては、本学施設を利用した開催は一切容認されない。

法政大学ポアソナード・タワー（東京都千代田区）

## 関学主催者「一切対応できていない」

批判・疑惑に

「ミスキャンパス関西学院2020」を主催する実行委員で社会学部3年の中尾仁美代表は、ミスコンテストについて批判や疑惑に「一切対応できていない」としつつ「外見だけで審査しているわけではない」と強調した。コンテストには60人の応募者の中から書類審査と対面審査で選ばれたファイナリスト6人が出場。来月28日のファイナルイベントで、グランプリが決まる。中尾代表は「イベントの審査基準は非公開だが、外見だけで判断しているわけではない」と述べた。実行委員は、関西学院大学の学生20人が所属。大学非公認だが、大学の名前を使って活動し、協賛企業の広告活動に協力している。中尾代表は「営利目的ではない」と言い切れない。大学から活動停止を求められたら従うしかない」と話した。近年、性差別や外見差別などの理由から、コンテストを廃止する大学が増えている。関西学院大のミスコン開催にも、批判や疑惑の声が挙がっているが、実行委員は一切対応できていないとした。

## 「特定の価値感で人を判断してもいい」という空気を大学内で助長

ミスコン&ミスターコンを考える会会員の話 大学でのミス・ミスターコンは中止すべきです。ミス・ミスターコンは、社会に存在する性差別やジェンダー規範を肯定し、再生産しています。女性の容姿や振る舞いに男性的な評価をすることに疑問を感じます。

女性は、日常的にいかに美しいか、男性を立てた振る舞いができるかといった男性的な評価に晒されています。コンテストはこうした評価を露骨に表現し、特定の価値観で人を判断してもいいという空気を大学内で助長しています。

社会の規範や価値観を問い直す場所であるはずの大学で、このようなコンテストが認められていることは、大学がどういう場所なのかということも問題になってきます。学生の自治が望まれる大学でどこまで大学が関与すべきかの判断は難しい

## 大学の名前を使うべきか 判断が必要

です。「ミスキャンパス関西学院」のように、大学の名前を使い、大学のコミュニティの中でコンテストが行われている以上、大学当局にも責任があると思います。今年、上智大学がミス、ミスターを決めるコンテストを廃止し「ソフィアンズコンテスト」を新設しました。価値観の押し付けやルッキズムを助長しているとの批判を受け入れた姿勢は評価しています。しかし、社会貢献が評価の対象になり、新たな規範、価値観を生み出しています。ルッキズムから完璧には脱却できず、評価基準に容姿が少しでも入っていることも問題です。規範や価値観の押し付けは日常的に存在します。それを大々的に行うミスコンを問い直すことで、社会の規範や価値観に抗う希望になると考えています。

## 関学神戸三田キャンパスから一番近い教習所

### ● 取得できる車種 ●

- 大型車・中型車・準中型車・普通車(AT/MT)・大型二輪車(AT/MT)・普通二輪車(AT/MT)

お申込みは、大学生協サービスカウンターにて受付できます。



兵庫県公安委員会指定

三田自動車学院

三田市志手原1147-1 TEL:079-562-2995 E-mail:sas.1963@poppy.ocn.ne.jp HP:www.sas-menkyokaiden.com



三田自動車学院携帯用HP QRコード